

Kaleidoscope — 階段の可能性を映し出す建築 —



階段は“人”を映し出す装置である

いそいでのぼる人、ゆっくりおりる人、座って話す人、立ち止まり眺める人
階段は、使う人の性格や目的によって、意味を変える

階段は“時間”を映し出す装置である

ひとつひとつの段が、日の移ろいで陰り、砂の動きで埋もれ現れる
階段は、自然の時間変化によって、姿を変える

常に変化し続ける階段の可能性を映し出し、観測するための建築

Concept

階段にはさまざまな可能性があり、さまざまな捉え方ができる。
階段を再解釈し、階段の可能性を映し出す建築を考える。



<p>上る up</p>	<p>下りる down</p>	<p>立ち止まる stop</p>	<p>座る sit</p>	<p>見上げる look up</p>	<p>見下ろす look down</p>
<p>目的がある purpose</p>	<p>テンポがある tempo</p>	<p>流れがある flow</p>	<p>空間をつなぐ connect</p>	<p>空間をわける divide</p>	<p>空間をわける distinguish</p>
<p>吹き抜けを伴う stairwell</p>	<p>斜めである diagonal</p>	<p>踊り場がある landing</p>	<p>面である surface</p>	<p>構造体である structure</p>	

Program

人を映し出す装置としての階段

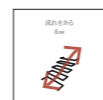
階段は使う人によって、その意味を変える



階段を使う人には、目的がある。
ある人にはただの一段でも、立ち止まったある人は目的のある一段になる。
階段のある空間は人の目的が交錯する。



階段は人が自力でのぼりおりするものである。
一段飛ばして急いでのぼる人、一段ずつゆっくりのぼる人、立ち止まる人。
人々ののぼりおりがテンポを生む。



階段は人に流れを与える。
流れの中で視点が変わり、人々がすれ違い、からまり、ただよう。
流れがあれば淀みもあり、人が集まる。

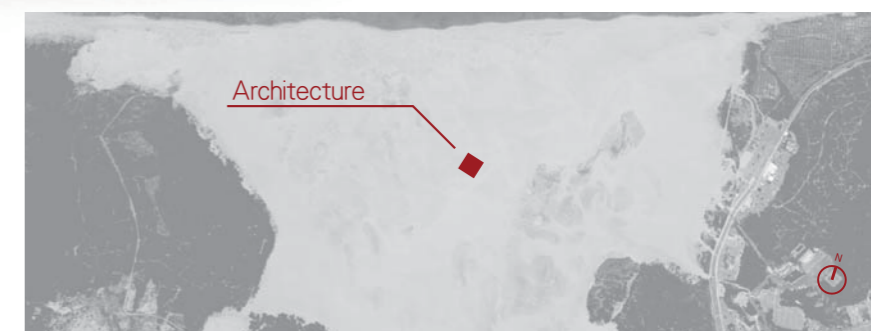
機能：展望台・観測所

古来、階段はのぼり、遠くを見渡す 観測するためにつくられてきた

人々がそれぞれの目的の中で流れやテンポを生み出し、行き交う建築

時間を映し出す装置としての階段

階段はその形状から、砂の動きによってその表情を変える



敷地：鳥取砂丘

鳥取砂丘を訪れる人はのぼりという行為と向きあう

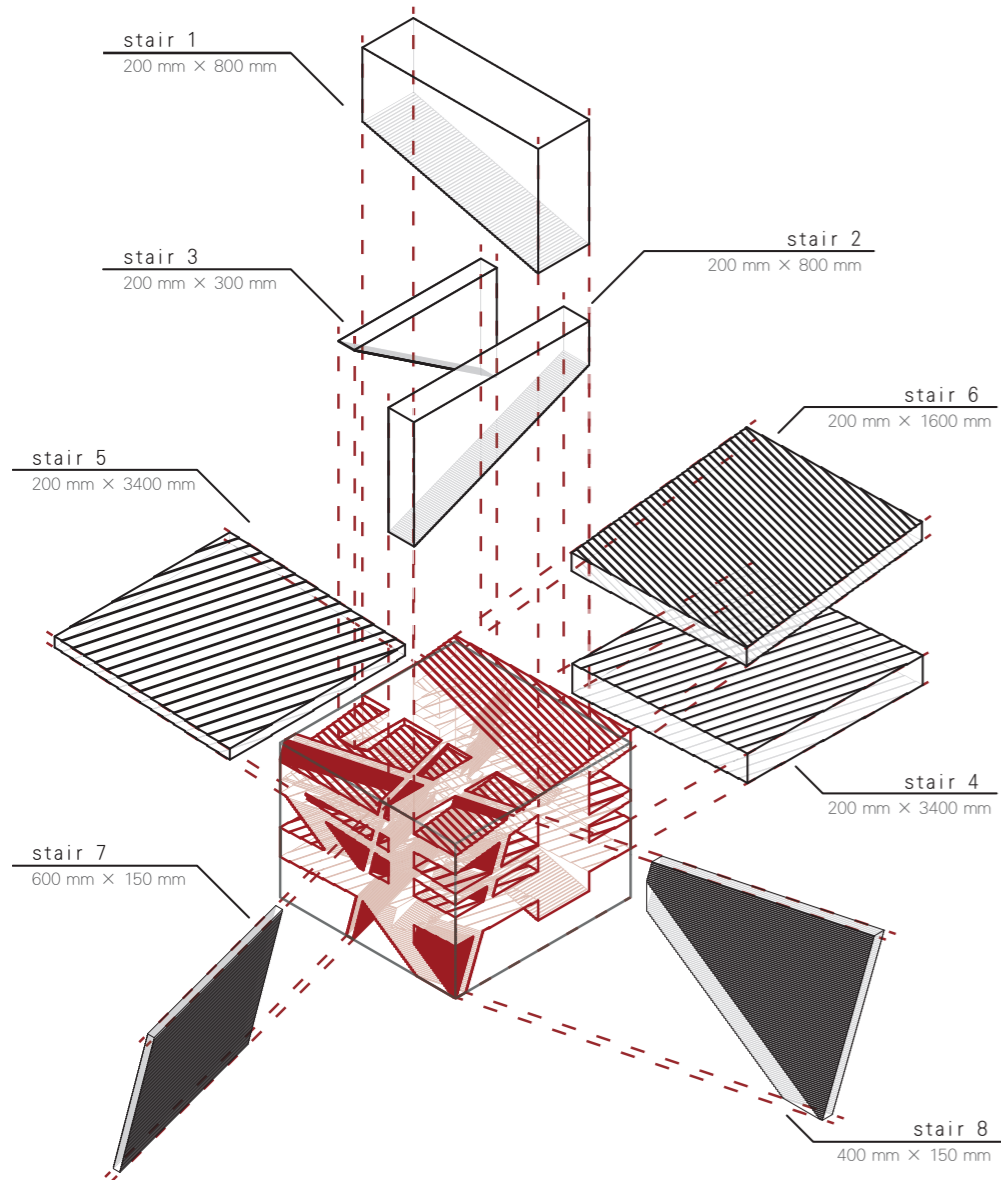
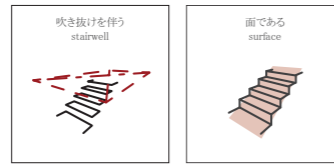
自然条件の変化の中で、その時々で表情を変える建築

Diagram

階段を再解釈することで、階段の可能性を抽出した空間をつくる。

操作 1: Void

「階段には吹き抜けが伴う」「階段は面である」
この捉え方を再解釈し、
階段をヴォイドとしてコンクリートの箱から抜き取る



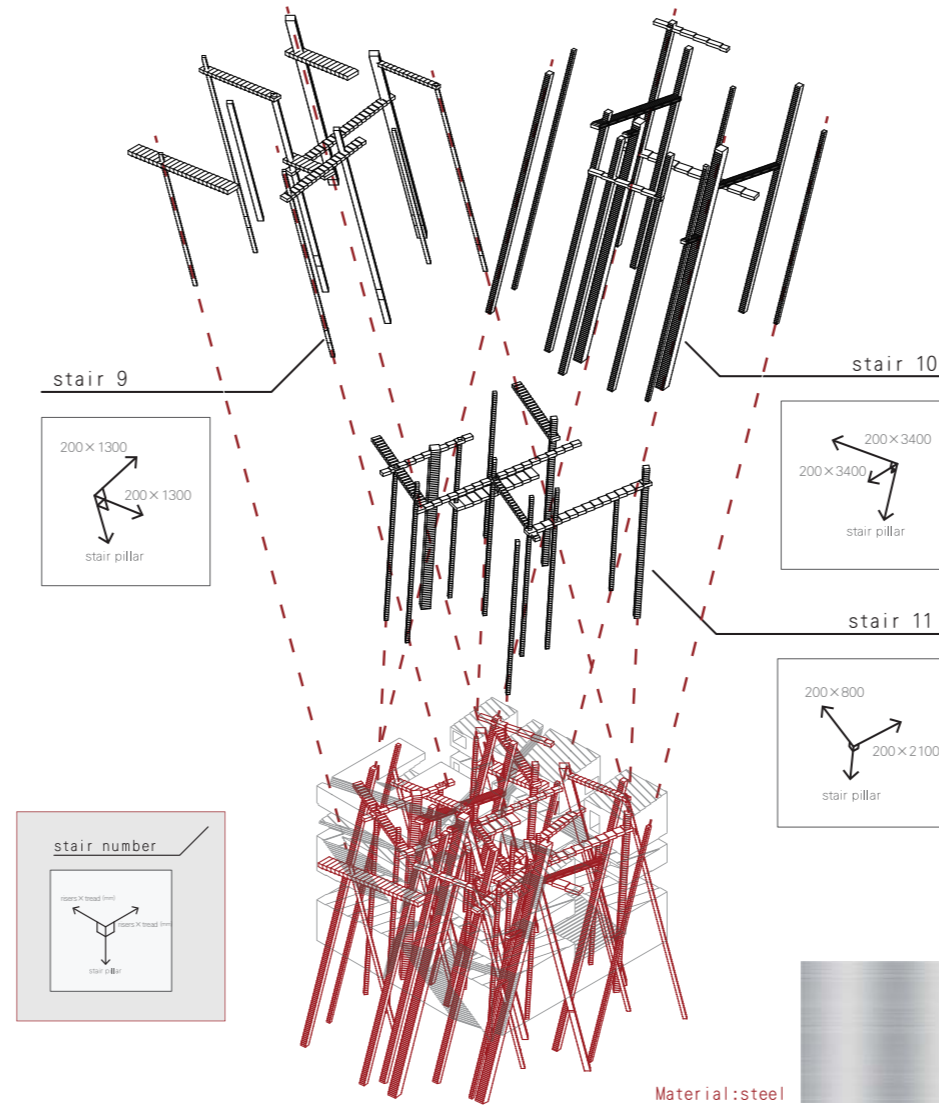
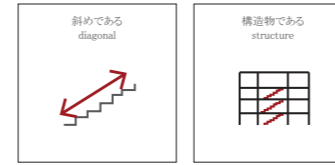
stair number
risers mm × treads mm

Material:concrete

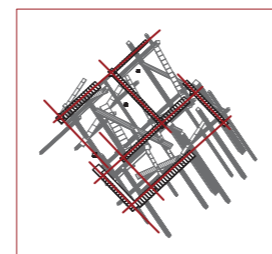


操作 2: Structure

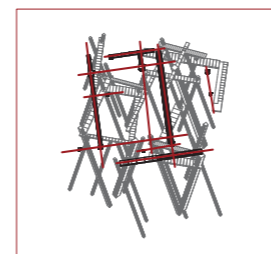
「階段は斜めである」「階段は構造体である」
この捉え方を再解釈し、
階段を斜めの鉄骨のフレームとして挿入する



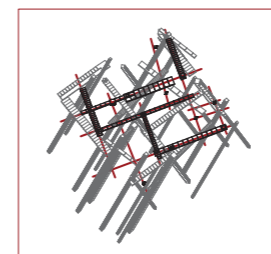
Material:steel



stair 9



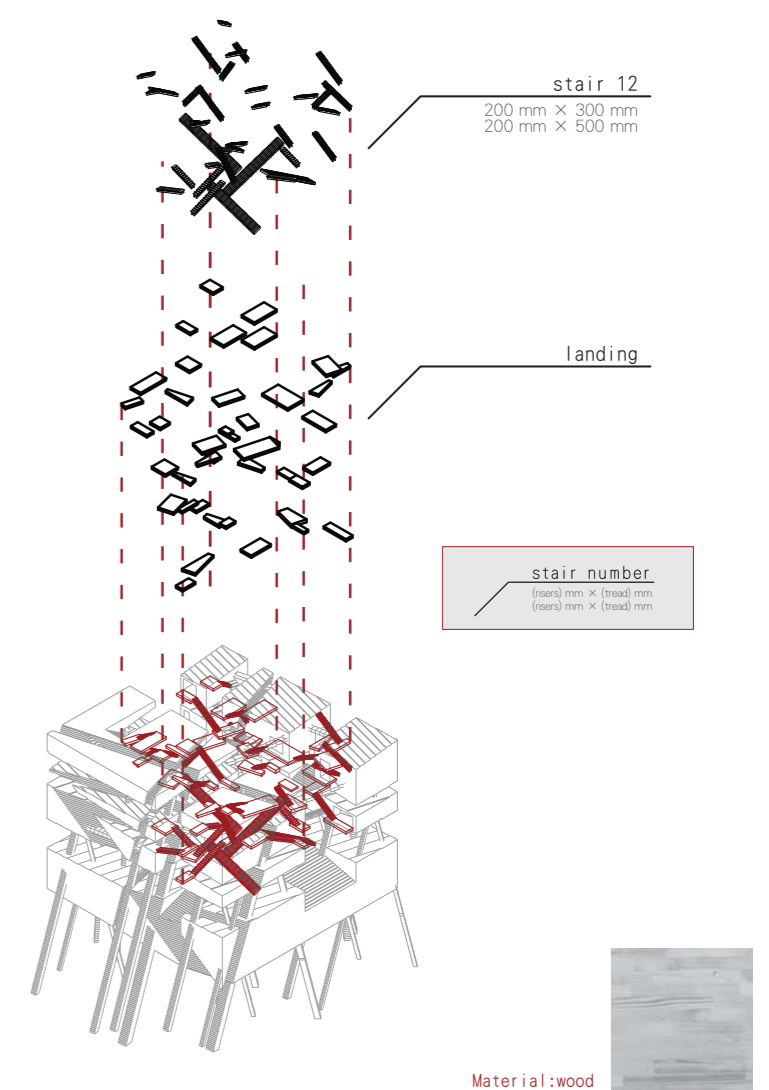
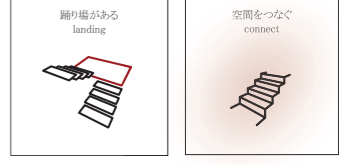
stair 10



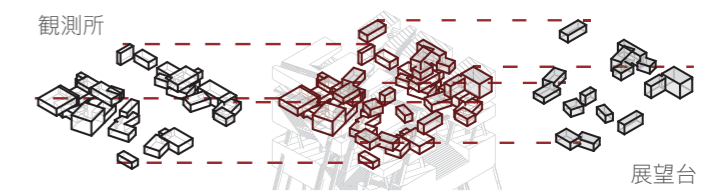
stair 11

操作 3: Landing

「階段には踊り場がある」「階段は空間をつなぐ」
この捉え方から、木の踊り場を再解釈・抽出し、
それらをつなぐように階段を挿入する



Material:wood

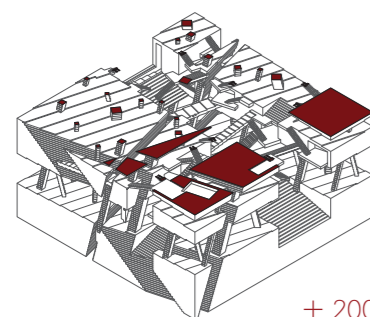
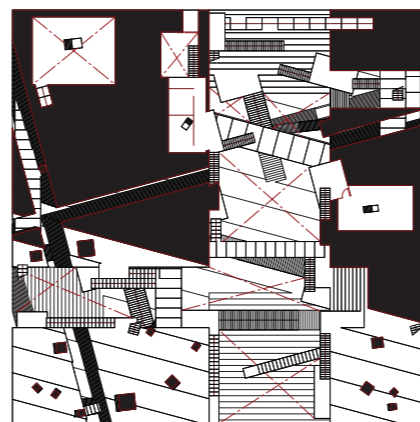
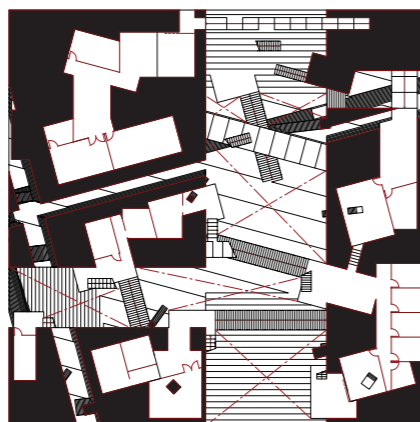
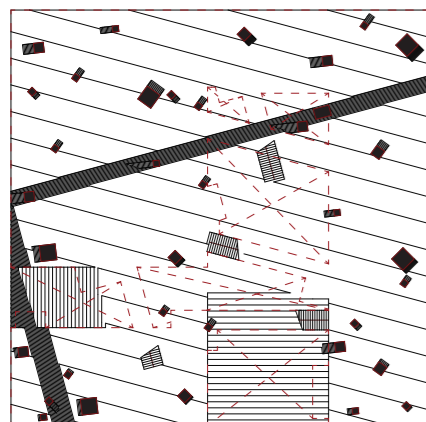


機材など、搬入を必要とする観測所機能を低層に、上層には展望台の機能を配置する

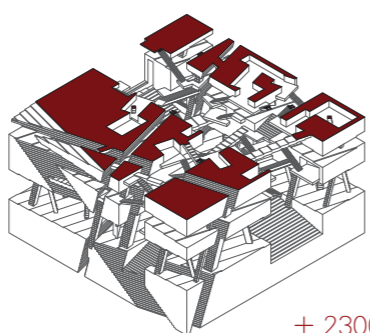
room

Plan S=1:1000

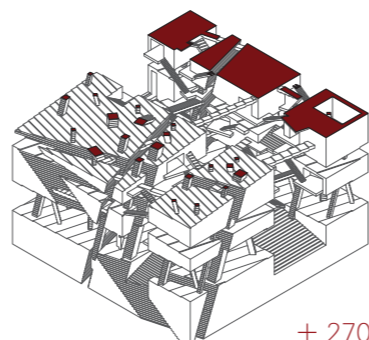
massの部分に室を設けることで、訪れる人に目的を与える。



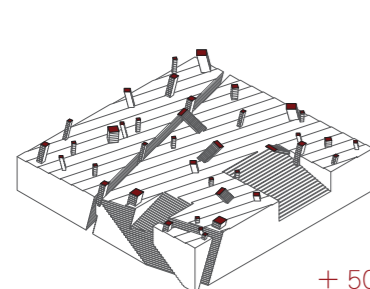
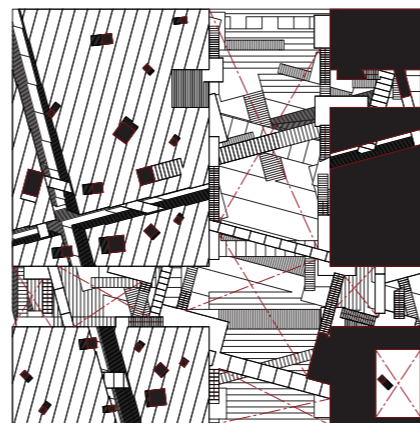
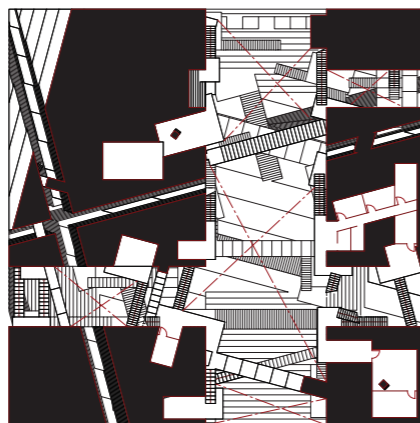
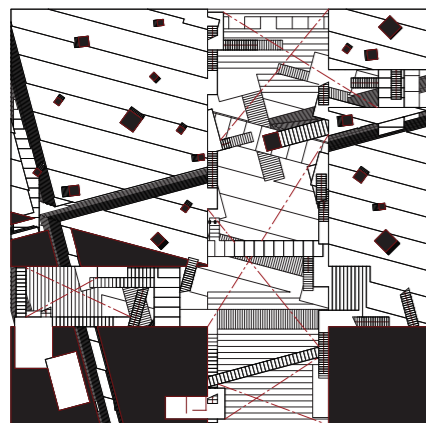
+ 20000 mm



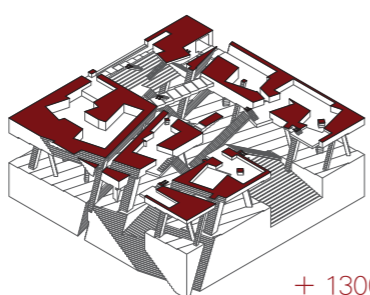
+ 23000 mm



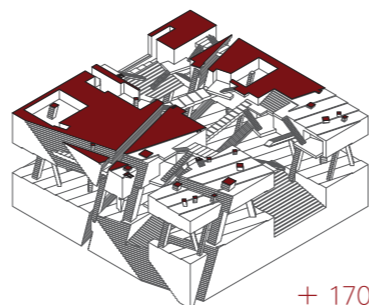
+ 27000 mm



+ 5000 mm



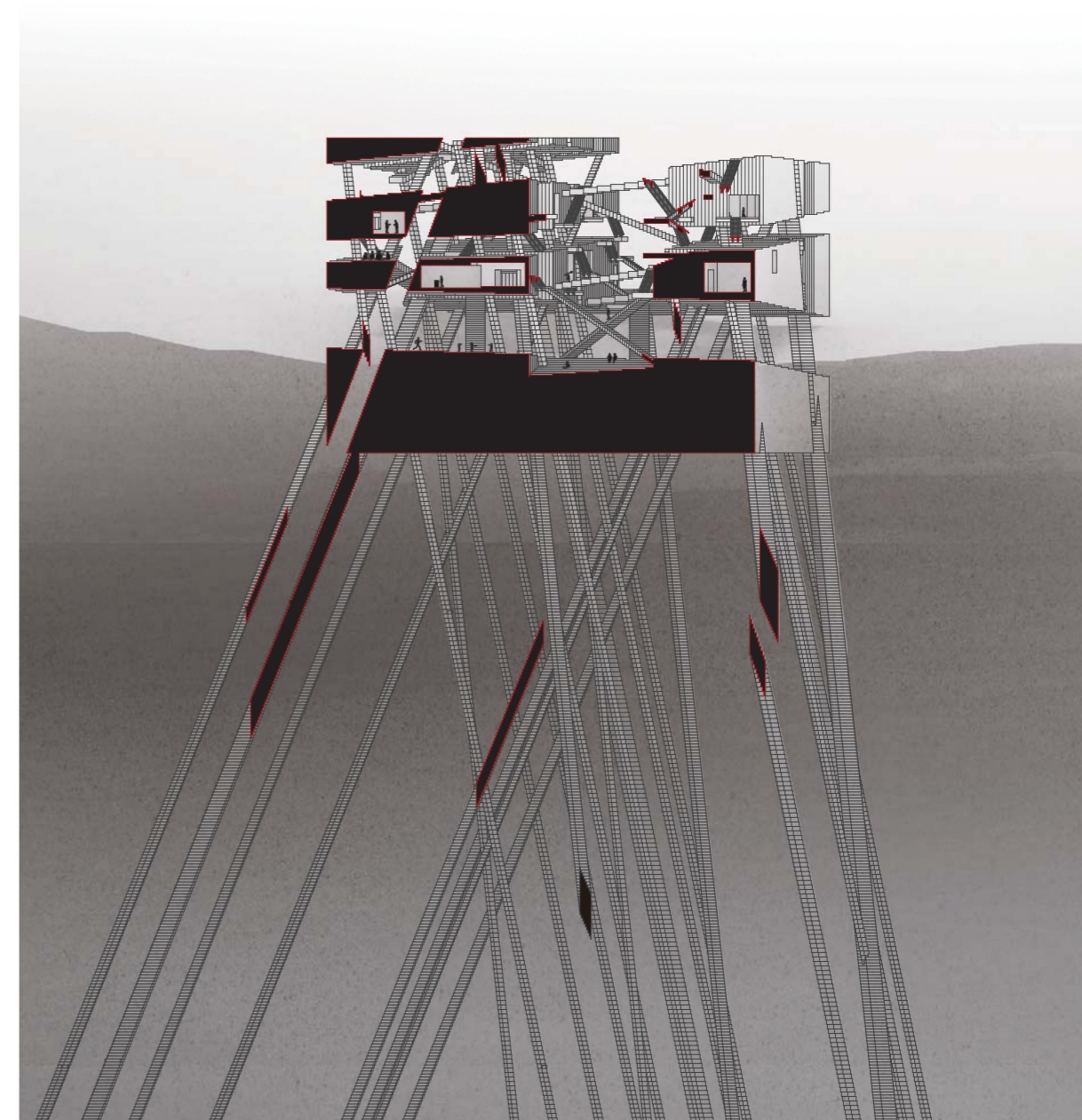
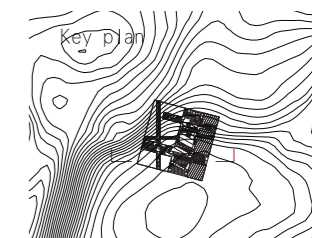
+ 13000 mm



+ 17000 mm

Section S=1:1000

構造体としての階段が杭基礎としての役割をもつ。



Perspective

人の動きや自然の変化で建築は表情を変える。



透き間を見通す



谷を見下ろす



吹き抜けを見上げる



階段下でたたずむ



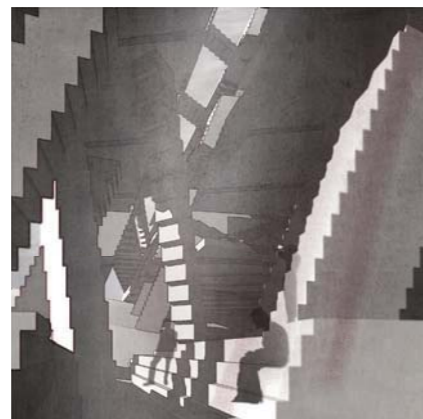
砂丘を眺める



階段に座る



砂に埋もれる



光が差し込む

Elevation S=1:2000

何百、何千年という時間をかけ、建築は姿を変えていく。



Photo

揺らぎのある砂の上に階段のカタチの影が落ち、常に流動し続ける建築をつくる。

